

2000 今世紀最後、夏の始まり

摂南大A、歓喜の初Vにおどる

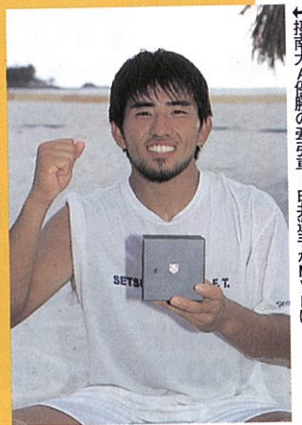
2000年BFのサーキットがいよいよ白浜から発進！
ビーチフッターたちの熱気が雨の天気予報を吹き飛ばし、
当日は“ドッピーカン”の好天に恵まれた。
参加76チームが、真っ白な砂浜で“熱い夏”の始まりを予感させるバトルを繰り広げ、
カップトーナメントでは摂南大Aが参加3回目まで悲願の初優勝を飾った。



↑出場全チームによる抽選で、セガよりドリームキャストがプレゼントされた



↑真鍋町長の歓迎のあいさつ



←摂南大A優勝の牽引車・白井選手がMVPに



→カップ優勝 摂南大A



→カップ準優勝 小田原市役所ボンバース



→カップ3位 KENYON



↑大会に出る人も出ない人も楽しめるようにと、応援で訪れた人を対象に、“ごみ箱ゴールゲーム”が行われた



→プレート優勝 YRFC-A



→プレート準優勝 じんばっちーず



→プレート3位 3モーツァルト

★プレートトーナメント

NANIWA'15	4	7
じんばっちーず	9	4
弁慶	7	6
TEAMエキキャバ	10	0
ジョニーさんと仲間たち	4	10
YRFC-A	7	11
関電A	3	0
3/3モーツァルト	4	0
3位決定戦		
弁慶	0	0
3/3モーツァルト	7	0

★カップトーナメント

KENYON	4	4
ロングバケーションミレニアム	3	8
梅干B	3	11
摂南大A	11	0
梅干A	0	3
風のロンド	8	6
小田原市役所ボンバース	6	3
POPCORN	3	3
3位決定戦		
KENYON	6	0
風のロンド	3	0

白浜の初夏はやっばり暑い！
連覇のメンバーが今年から社会人となり、練習時間が激減し準決勝で姿を消した風のロンドに代わり、白浜の王座を勝ち取ったのは、ラグビーの関西学生Aリーグに所属する摂南大Aだった。白浜の砂は、オーストラリアから持って来たという真っ白な砂。しかし美しさの反面、乾いた状態には足がズブツと埋まる細かい砂浜は、鍛えぬかれた体しか通用しない、言わば「実力本意」の決戦舞台となった。そんな「難所」を味方にした摂南大Aは、高いパフォーマンスを随所に見せ、型にとらわれないトリッキーなパスとランでタッチインを量産。初の栄冠を手にした。同行した摂南大・河瀬監督によれば「ラグビーのトレーニングの一環として、楽しみながら効果をあげられ

→決勝で見た摂南大Aの豪快なフライングタッチイン
↓練習の成果を遺憾なく発揮した小田原市役所ボンバース



は」と始めたBF。トレーニング効果はもちろん、BFでの歓喜の初優勝は、秋から始まる本職のラグビーのシーズンへ向け、大きな自信になったに違いない。
2位には、神奈川から参加した小田原市役所ボンバースが、関東の強豪・コトッククラブと毎週練習しているというだけの躍進ぶりを見せて食い込んだ。また、常連ならではの砂の使い方や巧みなプレーを展開したKENYONが3位に。そして、聴覚障害者で結成したクワイエットタイフーンWestが今年も白浜に姿を見せ、チームワーク、アイコンタクトに優れた好ゲームを披露した。今年まで、優勝しても全国大会へ進めなかった白浜大会も、来年からは、全国への道。が決定！
ますます熱くなる白浜に注目だ。

→3位の揃いのユニフォームを着た小田原市役所ボンバース



ビーチフットボールのテレビ放映決定！ 詳細は74ページにて。

↑初優勝を決め、シャンパンシャワーならぬ“ビールシャワー”で喜びを分かち合う摂南大チーム。「この大会の出場を許可して下さった河瀬監督に感謝します」と古屋主将